

下水道施設用ライニング材

環境対応型

- 環境ホルモンフリー
- VOC (揮発性有機溶剤) フリー
- 平成19年7月:下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術
及び防食技術マニュアル 塗布型ライニング工法品質規格合格

特殊水性ポリエチレン系防食防水材

ナルコートCP

コンクリートを腐食から守る
環境に優しい水性防食防水塗膜材

国土交通省 - NETIS登録製品

技術名称:ナルコート防食防水工法
NETIS登録番号:CB-050030-A

ナルコート工業会

ISO 14001:2004



(本社・関工場)

◆下地処理および注意事項

- ①ジャンカ、直径10mm以上のエクボ及び木コン部は、厚付け用ポリマーセメントモルタルを使用して、コンクリート面に合わせて平滑に仕上げてください。
- ②型枠の目違いによる不陸は、出張り箇所はサンダーを使用して平滑にし、大きい目違い(5mm以上)は厚付け用ポリマーセメントモルタルで平滑にし、小さい目違い(2~5mm)は素地調整モルタルを予め塗布して平滑にしてください。
- ③床部の入り隅は直角を避け、ハンチ上にコンクリートを施工するか、又はポリマーセメントモルタルを使用して20~30mmの△状に充填してください。(又は、エポキシ系弾性シーリング材で△10mm)
- ④コンクリート面に結露水がある場合、ウエス等で拭き取り、送風機等で濡れた状態を乾かしてください。
- ⑤漏水がある場合は、止水処理を行ってください。(注入材を使用した場合は、余分な注入材は取り除いて下さい。)
- ⑥下地の清掃は入念に行ってください。(清掃が不十分な場合、接着不良の原因になります。)

◆施工中の注意事項

●材料の保管

- ①材料は水性なので、凍結しないよう5℃以上で保管してください。
- ②残ったナルコートは、当日作業終了後、ビニールをナルコートに直接敷いてから蓋をし、密閉してください。

◆素地調整材の施工

- ①素地調整材の配合については、施工仕様書、又は施工要領書に従ってください。
- ②素地調整材の攪拌は確実に行ってください。
- ③素地調整材は、金ゴテを使用して塗布してください。
- ④一回目の塗布でピンホールが消えない場合は、もう一回素地調整材を塗布してください。
- ⑤素地調整材を施工後、送風機を使用して送排風措置を行ってください。(塗布面に直接送風機の強風が当たらないよう注意してください。)
- ⑥施工後翌日、素地調整材がまだ濡れている状態では、ナルコートを塗布できません。その場合は、もう一日乾燥養生してください。
- ⑦下地の精度は、0.5mm以内にして下さい。

●ナルコート施工

- ①ナルコートの施工は、5℃以下の場合は施工しないで下さい。
- ②槽内温度が5℃近くの場合は、加温対策を施し、槽内温度が10℃以上になるよう配慮して下さい。
- ③ナルコートは厚く塗布(1mm以上)するとダレ、表面乾燥

ひび割れが発生する可能性があります。状況に応じ、刷毛、ゴムコテ、ゴムへら等を使用して、均一な厚みになるようにして下さい。

- ④ナルコート塗布後、夜間に結露が発生しナルコートがダレ落ちた場合、落ちたナルコートはウエスで拭き取り、ダレて硬化したナルコートはカッター等で表面をすき取った後、内部が硬化していない時はウエスで拭き取って下さい。拭き取り後、塗布面に残ったナルコートを乾燥させるため、小さい面積の時はヘアードライヤーを使用し、大きい面積の時は送風機を直接あて、乾燥して下さい。(ウエスで念入りに拭き取った場合、3時間程度で塗布可能ですが、拭き取らなかった場合、当日の塗布作業はできません。)
- ⑤ナルコート1層目塗布後、送風機を使用した乾燥養生を行わない場合、翌日の次工程作業へ進むことができませんので注意して下さい。

◆施工後の注意事項

- ①ナルコートの乾燥硬化には、空気の還流、槽内空気(湿気)の排出が必要となります。槽内に送風機を設置する時は、ナルコート塗布面全体に風が当たるように配置して下さい。
- ②送風機の設置が、騒音、電力不足等により不可能の場合は、大型扇風機を用意して配置して下さい。
- ③必要養生日数は、槽内温度、送風機を使用しての送排風

ナルコートCP性能

接着性 <small>試験方法－建研式引張試験機による CP-DII工法試験値</small>	下地	基準値	状態	備考		
	コンクリート	1.5Mpa以上	2.9	合格		
	湿潤コンクリート	1.2Mpa以上	2.5	合格		
耐摩耗性	項目	摩耗質量	■JIS k 5400に準じて行った 摩耗輪：CS17 試験回数：1000回転 荷重：9.8N 回転速度：60±5r.p.m			
	耐摩耗性	16mg				
性状	外観	比重	主成分	粘度	PH	固形分
	灰色水性エマルジョン	1.15	ポリエチレン	150,000	9.0	63%
荷姿	20kgポリペール缶					
保存期間	1年					
耐薬品性 <small>※試験体は全てスレート板へ塗布後、 各溶液に3ヶ月浸漬し、表面状態を観察した。</small>	浸漬溶液	状態	浸漬状況	状態		
	飽和セメント水	異常なし	次亜塩素酸ナトリウム(1000ppm)	異常なし		
	水酸化ナトリウム飽和水溶液	異常なし	海水	異常なし		
	塩酸0.01%水溶液	異常なし	塩化カルシウム(20%水溶液)	異常なし		

ナルコート工業会

■事務局 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル5F 日東通商株式会社内 TEL 03(3552)2822 (工業会直通) FAX 03(3555)3065
 ●URL:<http://narucoat.jp/> E-mail:info@narucoat.jp

成瀬化学株式会社

■東京本店 〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目17番7号 TEL 03(3763)4113(代) FAX 03(3763)4118
 ■大阪営業所 〒573-0126 大阪府枚方市津田西町一丁目15番9号 TEL 072(858)5902(代) FAX 072(858)6040
 ■名古屋営業所 〒451-0052 名古屋市西区栄生一丁目35番20号 TEL 052(586)3811(代) FAX 052(586)3812
 ●URL:<http://www.mmjp.or.jp/naruphalt> E-mail:naruse@net.email.ne.jp

工業会会員名